

作成日		発行
2018. 04. 02 No.273		(株)秋山製作所 企画・デザイン室

桜

今年も桜が咲く季節がやってきました。満開の桜はとても綺麗で、見ていて心が癒されます。会社の同僚や友達、恋人とお花見に行かれる方も多いかと思います。そこで、日本人にとって最も身近な花、日本の国花のひとつでもある桜についてお話します。

桜はサクラ科と思っている方が多いと思いますが、実はバラ科です。大きく分けると、山桜などの山野に自生する「野生種」と、染井吉野などの鑑賞目的に品種改良された「園芸品種」に分けられます。その語源は、「咲く」に複数の意味する「ら」を加えたもの、また、「古事記」に登場する桜の霊「木花咲耶姫（このはなさくやひめ）」の「さくや」が語源とも言われています。桜はとてもデリケートな植物です。剪定法で使う、「桜切るバカ、梅切らぬバカ」という言葉がありますが、桜の枝はそのままの状態では切らない方が綺麗な姿になると言われ、切ってしまうと切口が腐って木に勢いが無くなるそうです。逆に梅は、枝を切ってやらないと立派な花を咲かせなくなってしまうそうです。また、桜は土が固まると養分を吸えなくなり、枯れてしまう事があるそうです。お花見の際には、決して枝を折らないように、また根元には座らないように注意したいです。山梨には北杜市武川村「山高神代桜」という、とても有名な桜があります。日本三大桜のひとつで国の天然記念物、樹齢 2000 年の日本最古の桜とされていて、その神々しい姿は必見です。(M. U)

眼鏡ホルダー付 シルバーピンブローチ



サクラ B5503



カーネーション B5502



カメラ B5504

収納されているリングを降ろせば眼鏡ホルダーにもなる優れもの。老眼鏡を使われるご年配の方へのプレゼントにもオススメです。

桃の花

前述のとおり日本の春と言えば「桜」ですが、日本一の桃の産地・山梨では桜と並んで「桃」も春の象徴の花になっています。

桃は中国から渡り、縄文時代以前から栽培されていたそうです。古来、中国では桃には不老長寿を与え邪気を払う力があるとされたり、「桃」という字は、木へんに「兆」と書き、兆は非常に多い数という意味で、多くの実がなる木＝多産や繁栄のシンボルとされてきたそうです。

4月上旬には、県内の至るところで桃の花を見ることができます。特に、生産量の多い峡東地域は標高差もある為、なだらかな斜面から平地にかけてピンクの絨毯をひろげたように咲き連なり、南アルプスを背に圧巻の春景となります。

桃の生産量日本一を誇る笛吹市では、3月25日～4月22日まで、「笛吹市桃源郷春まつり」が開催され、市内各所で様々なイベントが行われています。周辺には多くのワイナリーや、温泉施設もありますので、山梨の春を楽しんでみてはいかがでしょうか？(H. A)

防災

3月で東日本大震災から7年が経過しました。その後も熊本地震をはじめ、台風や豪雨による土砂崩れや水害など、毎年全国各地で自然災害が発生し大きな被害が出ています。

皆さんは、防災グッズ・マニュアルの確認は定期的に行なっていますか？特に、家庭内での防災マニュアルは、一度決めたらそのままになってしまっている家庭も多いようです。3.11から7年が経ち、SNSの普及など、新たな連絡ツールも増えています。アナログ対応も含め、より多くの連絡手段を持っておき、事前に使い慣れておくことが大切です。また、4月は新生活をスタートさせる時期です。引っ越しや、一人暮らしなど大きな変化がある時はもちろんですが、会社での部署異動や、子供の進級や習い事などによっても、時間や行動パターンに変化が出てきますので、定期的に必ず確認をしましょう。

『災害列島』と言われる日本です。しっかり防災意識・防災知識を持って生活していきたいですね。(H. A)